

令和5年度（2023年度）山口大学教職課程自己点検・評価

1. はじめに

教職課程の自己点検・評価は、教育職員免許法施行規則第22条の8の規定に基づき義務付けられている。これを受けて、本学では、以下に示す「山口大学における教育(教職課程)の内部質保証に関する実施要領」(資料1)を定め、全学体制で自己点検・評価を行うことにしている。具体的には、別途定めた「自己点検・評価シート」により、教職課程を有する各学部等及び教職センター長が自己点検・評価を実施し、それらの結果を山口大学教職センター会議及び山口大学教職課程委員会（以下、「教職センター会議等」という。）における確認を経て、担当副学長と情報を共有しながら、山口大学の教職課程（資料2）の質の向上及び改善を図るものとしている。

本報告書は、上記要領に基づき実施した令和5年度の自己点検・評価の結果を教職センターが取りまとめたものである。

【教育職員免許法施行規則第22条の8】

認定課程を有する大学は、当該大学における認定課程の教育課程、教育研究実施組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2. 自己点検・評価の項目の概要

次の(1)～(8)を自己点検・評価の項目（大項目）として設定した。また、それぞれ大項目の中に小項目を設定した自己点検・評価シートを用いて各学部等及び教職センターで点検・評価を行い、その後、全学の教職課程として「令和5年度（2023年度）山口大学教職課程自己点検評価シート」を取りまとめた。

- (1) 教育理念・学修目標（小項目 No. 1-1）
- (2) 授業科目・教職課程の編成及び実施（小項目 No. 2-1～2-8）
- (3) 学修成果の把握・可視化の状況（小項目 No. 3-1～3-3）
- (4) 教職員組織の状況（小項目 No. 4-1～4-5）
- (5) 情報公表の状況（小項目 No. 5-1～5-3）
- (6) 教職指導（学生の受け入れ、学生支援）の状況（小項目 No. 6-1～6-3）
- (7) 関係機関等との連携の状況（小項目 No. 7-1～7-3）
- (8) その他必要と認められる事項（令和5年度は設定を要しなかった）

3. 総評

「山口大学における教育（教職課程）の内部質保証に関する実施要領」に基づき、教職課程における教育理念・学修目標、授業科目・教職課程の編成及び実施、学修成果の把握・可視化の状況、教職員組織の状況、情報公表の状況、教職指導の状況、関係機関等との連携の状況等について、教職課程を有する教育課程責任者（各学部・研究科長）、教職センター長及び教職課程委員会委員長と連携の上、自己点検・評価を実施し、令和6年6月開催の教職センター会議および教職課程委員会において確認された後、推進責任者（教育学生担当副学長）から自己点検・評価責任者（大学評価担当副学長）へ報告され、全ての評価項目において適切に自己点検・評価を実施していることを確認した。また、全評価項目において、本学の教職課程は概ね適切に運営されていることを確認した。

4. 取組状況

令和5年度の取り組みのうち、主な課題の改善状況や優れた成果は以下の通りである。

① 協働的な学びや作業に対する ICT 活用及び ICT 活用指導力の向上

令和4年度の改善すべき点として、学校現場と大学の授業ではその活用方法に乖離があることへの対応を求められていた。教育学部や教育学研究科では、試行的に Google アカウントを配布して、教職関連授業において協働的な学びや作業に対する Google ツールの活用を通して ICT 活用指導力の向上に努めている。今後、この取り組みでの成果を全学の教職関連授業や Google アカウント配布に結び付けていきたいと考えている。

② 一部の教職関連授業科目に関するシラバス記載内容への指摘と改善

令和4年度の文部科学省実地視察の受審時に、一部の授業科目のシラバスについて、記載内容に関する指摘を受けた。この指摘を受けて、教職センターにおいて、教職課程を構成する授業科目のシラバスを作成する際の注意事項等をまとめ、教学マネジメント室がシラバスの作成依頼をする際に併せて周知することとした。各学部等では、令和5年度の令和6年度シラバス作成から、注意事項に沿って教職課程を構成する授業科目シラバスの作成と点検を実施している。

③ 学生に対する教職指導・進路指導・履修指導

各学部及び教職センターにおいて、教職課程を進めている学生に対して、

教職に関する指導、進路指導、履修指導を推進している。特に、各学部では、定期的な「履修カルテ」を用いた面談の実施を通して、学生の履修状況等の把握や履修指導を行っている。また、教職センターでは、アドバイザー（校長経験者）による教職相談において、教育実習における授業づくりから、教員採用試験の自己PR書や小論文等の添削、さらに教職に関する進路指導など行い、個々の教職履修学生に応じた対応を推進している。

一方、改善すべき点及び改善案は、以下の通りである。

- ① **授業評価アンケートや教員自己評価の学部・研究科による実施状況の差異**
2-8（個々の授業科目の見直しの状況）において、学部・研究科によって、授業評価アンケートや教員による自己評価の実施状況の差が生じている。このアンケートや自己評価は半期ごとに実施しているが、その結果の活用方法について、各授業担当教員の裁量に任されている学部も一部ある。そのため、教職課程全体での点検や内容の見直し等、組織的な対応については検討の余地がある。

以上、本学の教職課程に関しては、教職課程委員会を中心にしつつ、教職センター、教育学部、一般学部において、質の向上に取り組んできている。今後は、引き続き、目まぐるしく変化する予測困難な時代（VUCAの時代）において教員に求められる資質能力についてアンテナを張りながら、教職課程の質の向上に向けて確認と改善に努めていく必要がある。

資料1 山口大学における教育(教職課程)の内部質保証に関する実施要領

山口大学における教育(教職課程)の内部質保証に関する実施要領

令和4年1月21日 副学長（教育学生担当） 裁定

令和4年6月21日 一部改正

第1 目的

この実施要領は、山口大学における教育の内部質保証に関する要綱（以下「要綱」という。）第4条第3項に基づき、本学の教職課程の内部質保証の自己点検・評価に関する事項を定めることを目的とする。

第2 内部質保証の自己点検・評価の実施

- (1) 副学長（教育学生担当）は、教職課程を有する教育課程責任者、教職センター長及び教職課程委員会委員長と連携し、教職課程の内部質保証の自己点検・評価を実施し、山口大学教職センター会議及び山口大学教職課程委員会（以下、「教職センター会議等」という。）において確認する。
- (2) 副学長（教育学生担当）は、前項で確認した内部質保証の自己点検・評価について、自己点検・評価責任者に報告する。

第3 自己点検・評価の項目及び手順

自己点検・評価の項目は、次のとおりとし、別紙自己点検・評価シートにより評価を行う。

- (1) 教育理念・学修目標
- (2) 授業科目・教職課程の編成及び実施
- (3) 学修成果の把握・可視化の状況
- (4) 教職員組織の状況
- (5) 情報公表の状況
- (6) 教職指導（学生の受け入れ、学生支援）の状況
- (7) 関係機関等との連携の状況
- (8) その他必要と認められる事項

第4 自己点検・評価の実施時期

自己点検・評価は、原則として毎年度実施する。ただし、必要に応じて実施時期を変更できるものとする。

第5 他の評価結果等の活用

- (1) 自己点検・評価の実施にあたっては、国立大学法人評価や機関別認証評価等の第三者評価の結果を活用する。

資料2 山口大学における教職課程認定

学部（一種免許状）

学部	学科・課程	取得できる免許状	
		種類	教科等
人文学部	人文学科	中一種免	国語、社会、英語
		高一種免	国語、地理歴史、公民、英語
教育学部	学校教育教員養成課程	幼一種免	—
		小一種免	—
		中一種免	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
		高一種免	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、英語
		特支一種免	知的障害者、肢体不自由者、病弱者
経済学部	経済学科	高一種免	公民
	経営学科	高一種免	商業
理学部	数理科学科	中一種免	数学
		高一種免	数学
	物理・情報科学科	中一種免	理科
		高一種免	理科、情報
	化学科	中一種免	理科
		高一種免	理科
	生物学科	中一種免	理科
		高一種免	理科
工学部	地球圏システム科学科	中一種免	理科
		高一種免	理科
	機械工学科	高一種免	工業
	社会建設工学科	高一種免	工業
	応用化学科	高一種免	工業
	電気電子工学科	高一種免	工業
農学部	知能情報工学科	高一種免	情報
	循環環境工学科	高一種免	工業
	生物資源環境科学科	高一種免	農業

大学院（専修免許状）

研究科	専攻	取得できる免許状	
		種類	教科等
人文科学研究科	人文科学専攻	中専免	国語、社会、英語
		高専免	国語、地理歴史、公民、英語
教育学研究科	学校臨床心理学専攻	幼専免	—
		小専免	—
		中専免	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
		高専免	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、英語
	教職実践高度化専攻	幼専免	—
		小専免	—
		中専免	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教
		高専免	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、宗教
		特支専免	知的障害者、肢体不自由者、病弱者
		養教専免	—
		栄教専免	—
経済学研究科	経済学専攻	高専免	公民
	企業経営専攻	高専免	商業
創成科学研究科	基盤科学系専攻	中専免	数学、理科
		高専免	数学、理科
	地球圏生命物質科学系専攻	中専免	理科
		高専免	理科
	農学系専攻	高専免	農業